



質問者 畑山剛一議員

「エピペン」について

問 食物アレルギーなどアナフィラキシーショックと呼ばれる重篤な症状を和らげるアドレナリン自己注射薬「エピペン」への保険適用が、本年、9月22日から始まった。しかし、その存在自体が一般にはほとんど知られていない。そこで、広く市民に「エピペン」の存在と共に、効用や入手方法を、周知するような施策が必要と思うが、所見を伺う。

答 ホームページや広報「アトピー・アレルギー教室」、あるいは医療機関でのポスターの掲示等が考えられるが、医師会等の見解も踏まえて考える。

問 児童生徒が、アナフィラキシーショックを起こした場合に必要な応じ、「エピペン」を使用する対応がとれるよう、教職員全員が情報を共有し、緊急時の準備をしておくことを求めるが、所見を伺う。

学校トイレの洋式化について

問 昨年の12月の定例会

答 全教職員が研修を実施し、情報の共有を行い、今後子どもたちのアレルギーの状況掌握に努め、その命と健康を守るべく研修を重ねる。

成年後見制度について

問 高齢者を中心に増えている認知症。成年後見制度とは、判断能力が不十分な方に対して、不利益をこうむらないようにする手立ての一つである。判断能力が不十分でも自分らしく暮らすために、身近な支え役となるのが市民後見人である。市民後見人の育成と、制度・利用者への周知はどうか。

答 市民後見人の育成に努めると共に、関係者への制度説明と、市の広報ホームページなどで広く市民に周知していく。



自己注射薬「エピペン」

で質問した、小中学校のトイレの洋式化について再度伺う。本年、11月10日に文部科学省が、「トイレ発、明るく元気な学校づくり!!」学校トイレ改善の取組事例集」を発表した。特に、学校トイレについては、他の施設と比べて相対的に整備が遅れており、この改善を図る必要があると、記載されている。現在、学校の耐震化と共にトイレの洋式化は、どのように進めているか。

答 現在進めている耐震補強工事とあわせてトイレの洋式化を進めている。

問 温水洗浄や温便座の設置、改修の計画はどうか。

答 今後においては、災害時等において被難所となる体育館などを優先的に、温水洗浄便座や、温便座の整備を行う。



質問者 森本重宣議員

たつの市は毎年、一般会計から独立した会計に異常と言える建設債補填を続けてきた。今年になって、赤とんぼ荘で食中毒事件。9月議会では、全荘が赤字で経営補填まで要望。そして今回は、粉飾会計、偽装報告が発覚した。

新舞子荘の虚偽会計、粉飾決算について

問 金額が合わないが具体的に説明願いたい。

答 減債積立金は継続しているものとする。改修・器具購入に3千685万円。土地購入費1億2322万円。

問 粉飾決算の原因は。

答 合併前に適切な処理をしなかった。意図的・作為的でないから粉飾決算ではない。



国民宿舎「新舞子荘」

問 どんぶり勘定をやめるべき。会計のやり方の改善をする心算は。全荘統一会計にする心算は。

答 現状のまま続ける。

問 合併後このかた、予算・決算・会計監査に粉飾会計を提示してたまし続けてきた。過去数年の予算決算書を修正するのか。

答 平成23年度決算の調整をして変更したい。

問 10月18日の常任委員会で単純ミスだと説明。にもかかわらず、25日の決算委員会では修正せず報告。12月議会の本会議に上程。矛盾だらけだ。市長は会計不備をいつ知

ったか。

答 いったったか。問題がないと思っていた。詳しく調べて対処する。

国民宿舎をどうしようという考えなのか本心を伺う

問 社会需要もサービス業の形態も大変化。景気低迷は今後も続く。今後とも国民宿舎に慢性的な経営補填をする心算か。

答 志んく荘の建設費は返済終了まで補填する予定である。

問 全国の国民宿舎の数は平成22年で122カ所。兵庫県内には7カ所。それらは、有名な温泉、国定公園など景勝地にあり、大半が指定管理。国民宿舎は今後さらに減少する。市は国民宿舎経営をどうする考えなのか。

答 できるだけ自己資金で維持費を捻出しながら経営を続けていきたいが、今後のあり方は、抜本改革委員会に検討をお願いしている。